



2019年11月14日

各 位

上場会社名 株式会社 サンエー化研
 代表者 代表取締役社長 山本 明広
 (コード番号 4234)
 問合せ先責任者 執行役員管理本部長兼経理部長 近江 剛
 (TEL 03-3241-5702)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	33,500	900	1,030	721	65.70
今回修正予想(B)	30,700	410	480	270	24.60
増減額(B-A)	△2,800	△490	△550	△451	
増減率(%)	△8.4	△54.4	△53.4	△62.6	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	31,195	326	587	185	16.92

2020年3月期通期個別業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	29,200	1,070	749	68.25
今回修正予想(B)	26,900	610	420	38.27
増減額(B-A)	△2,300	△460	△329	
増減率(%)	△7.9	△43.0	△43.9	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	27,333	838	425	38.74

修正の理由

当第2四半期連結累計期間において、軽包装材料セグメントのエア緩衝材「エアロテクト」が主ユーザーの使用量削減により受注が減少したことや、機能性材料セグメントの「サニテクト」が一部ユーザーの仕様変更から販売量が減少したこと、2層押し出しタイプ(強粘着品)への置換えによる受注減少等を受け、減収となりました。今後の見通しにおいても、世界的な景気後退の懸念や主要生産国における液晶パネルの過剰在庫など、直近の経済情勢、市場環境の変化等を踏まえた事業計画の見直しを行った結果、通期の業績は個別・連結とも前回予想値よりも減収・減益が見込まれることとなりました。

(注)本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上